

## 2023年度 第415回教育研究審議会議事要録

**日時** 2023年12月19日(火) 15:00~16:44  
**場所** 本館 E-701 会議室  
**出席者** 柳井学長、漆原副学長、上江洲副学長、内田副学長、後藤副学長、中本事務局長、武井外国語学部長、田村経済学部長、児玉文学部長、中村法学部長、中武国際環境工学部長、西田地域創生学群長、田島大学院社会システム研究科長、松永大学院マネジメント研究科長、寺田学生部長、狭間教務部長、廣渡基盤教育センター長、篠崎入試センター長、浅羽情報総合センター長、井上環境技術研究所長、二宮図書館長

**配布資料**

- 1-1 教員採用選考報告書 (外国語学部)
- 1-2 教員採用選考報告書 (国際環境工学部)
- 1-3 教員採用選考報告書 (国際環境工学部)
- 1-4 教員採用選考報告書 (国際環境工学部)
- 1-5 教員採用選考報告書 (基盤教育センター)
- 1-6 退職届 (国際環境工学部)
- 2 2024年度4月1日付け昇任候補者にかかる昇任選考委員会の設置について
- 3 2024年度外国語学部・経済学部・文学部・法学部・地域創生学群 学年暦(案)他
- 4 地域戦略研究所と福井県立大学地域経済研究所との連携協定締結について
- 5 北九州GX推進コンソーシアム
- 6 入試アドバイザー制度について

### 第1号 教員の人事について

\* 資料1-1のとおり、外国語学部英米学科の通訳教育、国際教育担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(柴田弓子氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- OD期間を特任准教授となった2021年4月から数えると、採用時には5年間のOD期間を満たすので任用職は講師とするべきではないか。
- OD期間は、特任准教授となった2021年4月ではなく、博士後期課程に入学した2022年10月から数えるべきではないか。その場合、採用時に5年間のOD期間は満たさないことになる為、報告書の通り助教として採用することになる。
- このような場合、どこからOD期間として数えるかは明確ではない。その点は課題として認識しているが、少なくとも間断なく研究を行った期間として明確なのは博士後期課程に入学した2022年10月からであり、ここから数えることが最も妥当だと判断し、助教で採用したい。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-2のとおり、国際環境工学部エネルギー循環化学科の化学プロセスに関する分野の担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(片山裕美氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

\* 資料1-3のとおり、国際環境工学部エネルギー循環化学科の先進マテリアルに関する分野の担当教員人事について、選考委員会から採用候補者(寺本高啓氏)の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料1-4のとおり、国際環境工学部建築デザイン学科の建築設備工学、建築環境工学分野担当教員人事について、選考委員会から採用候補者（上野貴広氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料1-5のとおり、基盤教育センターの言語学、または関連分野担当教員人事について、選考委員会から採用候補者（安部由紀子氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

- 既に配布した資料に一部変更がある。教育研究業績書の研究業績について学術誌等の項目から1番と3番を削除することとした。1番は学会報告の項目に記載した実績と内容が重複している為、3番は査読がなく新規性に乏しい為である。  
（この修正を行ったうえでも研究業績が任用職の資格を満たすことを確認済み。）

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

\* 資料1-6のとおり、国際環境工学部からの申請に基づき、藤田慎之輔准教授の2024年3月31日付での退職について提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第2号 昇任選考委員会の設置について

\* 資料2のとおり、2024年4月1日付の昇任候補者にかかる昇任選考委員会の設置について提案。

- 採用候補者及び昇任候補者選考委員会における選考プロセスが公明正大で過不足なく行われていることをモニターする役割として、教育研究審議会委員から1名を選考委員会に選出することとなっている。現状、特定の教員への負担が大きくなっているケースも見受けられる為、この選出方法をローテーションにしているか。もちろん原則であり、利害関係のある方に当たれば順番を入れ替える。
- ローテーションの案に賛成である。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 第3号 2024年度学年暦について

\* 資料3のとおり、2024年度の学年暦について提案。

【議長】提案について承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 報告

- ① 地域戦略研究所と福井県立大学地域経済研究所との連携協定締結について
- ② 北九州GX推進コンソーシアムへの参画について

③ 入試アドバイザー制度について